



鹿児島地本だより

第49号
(令和6年夏号)

発行元 自衛隊
鹿児島地方協力本部
印刷所
南日本出版株式会社



本部長ご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部長
1等海佐 松浦 幸一

平素より、防衛協会、自衛隊家族会、隊友会、地本後援会、就職援護協会などの各協力団体及び企業主、募集相談員などの皆様におかれましては、自衛隊鹿児島地方協力本部に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度、新型コロナウイルス感染症が第五類感染症へ移行し、各種イベント・訓練等が再開され、鹿児島地方協力本部もこれに連携した募集ブースの出展及び装備品の展示等募集広報活動を実施し、自衛隊の魅力をもっとPRしてまいりました。募集業務においては、延べ二千二百三十七名の受験者、総勢二百五十六名の入隊・入校者を獲得することができました。援護業務においては、定年制・任期制ともに延長者を除き再就職率100%を達成するとともに、予備自衛官等業務においては、予備自衛官の充足管理目標・出頭率、即応予備自衛官の採用目標を達成することができました。

現在、我が国を取り巻く安全保障環境は常に変化を続け、周辺諸国における軍事力の強化は顕著であり、様々な課題や不安定要素がより顕在化・先鋭化する中、我々自衛隊はあらゆる事態に即応し、主権と領域及び国民の生命と財産を守ることが期待されています。防衛省・自衛隊は七十周年を迎えますが、無人兵器の

発達やAIの進化がこれまでの社会や戦い方を劇的に変える等、世界も日本も大きく変化し、歴史の転換点にあると思われる。

このような情勢の中、令和六年度の募集状況は、引き続き、少子化により益々厳しい環境と認識せざるを得ない状況であります。また、退職予定隊員の就職援護においては、雇用情勢は好転しているとはいえ、退職者の希望に沿った就職の援助には粘り強い調整や折衝が必要となり、さらに、予備自衛官等の確保についても引き続き厳しい状況が予想されます。

そのような状況の中にあっても、自衛隊鹿児島地方協力本部は「精強な自衛隊の維持」を目標に掲げ、現場部隊の隊員、装備品、施設等を積極的に「見せる募集」と募集対象者が受験資格を得られる年齢まで継続的に自衛隊の魅力を発信する「育てる募集」を要として自衛隊を支える良質な隊員を確保するとともに、優良な再就職援護先を獲得し、また、予備自衛官等を確保するために「できることはすべて実施する」気概を持って、部員一丸となり募集・援護業務に邁進しているところであります。

皆様におかれましては、今後とも我々の諸活動に対してご理解いただきまして、更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和六年度募集・援護出陣式



自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和六年四月十八日（木）、「令和六年度募集・援護出陣式」を実施した。

本出陣式の目的は、令和六年度の募集・援護及び予備自衛官等業務のスタートに当たり、地本としての任務達成、各種目標の達成並びに一年を通じての安全を祈願するとともに、部員全員の士気の高揚及び団結の強化を図ることです。

出陣式に際し、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会会長 畠田実様、同副会長 有村長藏様及び兒玉健二郎様のご臨席を賜り、過分なるご祝辞を頂戴して、部員一同、更に身を引き締めた。

本部長は式辞で、「自衛隊鹿児島地方協力本部は、本部後援会をはじめとする関係協力諸団体、自治体、学校、募集対象者及びその保護者、雇用企業等、自衛隊鹿児島地方協力本部の任務達成に欠かすことができない方々の格別のご支援・ご協力を賜りながら各種業務に取り組む所存であります。

部員においては勤務方針を念頭におき、一人一人が任務達成のために何をすべきかを考えながらそれぞれの業務に取り組んでもらいたい。」と部員に訓示した。

最後に令和六年度の募集・援護等各課業務の目標達成を祈願して恒例のダルマの目入れを行い、部員全員が令和六年度の目標達成に向けて、決意を新たにしました。

※「鹿児島地本」は「自衛隊鹿児島地方協力本部」の略称です。

援護課
予備自衛官班

令和6年度予備自衛官中央訓練参加
～予備自衛官制度創設70周年事業～

令和6年5月23日(木)から27日(月)の5日間、予備自衛官制度創設70周年事業として、本事業を祝賀した式典(防衛省市ヶ谷庁舎)、予備自衛官中央訓練(朝雲駐屯地)及び富士総合火力演習(東富士演習場)がそれぞれ実施され、自衛隊鹿児島地方協力本部からは、予備1等陸尉 中野 直子さんが参加した。

中野1尉は、令和元年7月に予備自衛官補(技能・衛生)で採用され、同年10月、所定の教育訓練を修了し、予備自衛官として任用。翌年の令和2年7月豪雨においては、被災地となった熊本へ出張し、西部方面衛生隊の一員として6日間の災害派遣活動に従事した経験をもつ隊員である。

この度、予備自衛官制度創設70周年の節目となる中央訓練を熱望され、令和6年5月16日(木)から20日(月)に行われた予備自衛官5日間招集訓練(健軍駐屯地)にも参加した後、引き続いての本訓練等への参加となった。一連の訓練への参加は、中野1尉ご本人の国防や災害派遣に対する熱意や意識の高さもさることながら、現在勤務をされている病院、そこに勤務される上司や同僚のご理解ご協力なしでは到底成り立たず、自衛隊鹿児島地方協力本部としても、この度の予備自衛官制度創設70周年事業の一環である中央訓練に相応しい隊員を送り出せたことを大変誇らしく感じている。

なお、予備自衛官中央訓練に参加した中野1尉からは、「念願の中央訓練への出張が叶い大変嬉しい。記念祝賀会では、木原防衛大臣とも握手させていただいた。今後も予備自衛官と本業との両立に努めながら、切磋琢磨し精鋭無比を目指して平素の訓練に励んでいきたい。」との所感を述べており、今後更なる活躍が期待できる。

自衛隊鹿児島地方協力本部援護課は、中野1尉が、引き続き地域と自衛隊の架け橋となり、他の予備自衛官の模範として貢献されることを少しでも支えていくとともに、多くの予備自衛官が訓練等に出頭しやすい環境づくりに邁進したい。



祝賀会にて陸上幕僚長と撮影

国分地域
事務所

『中学生職場体験学習を支援』
～地本内の共同連携～

自衛隊鹿児島地方協力本部国分地域事務所は、令和6年5月14日(火)～16日(木)までの間、陸上自衛隊国分駐屯地において職場体験学習支援を実施した。これは、学校教育に協力して、中学校からのニーズに基づき、自衛隊という職業への理解、興味・関心の向上及び親近感を醸成するのが狙いである。

参加したのは、霧島市の国分南中、隼人中、霧島中、日当山中と鹿児島市の城西中、武岡中、清水中の計7校の中学3年生48名(男子40名、女子8名)であり、鹿児島県募集案内所及び国分駐屯地援護センターと連携を図り、共同して実施した。

体験学習では、「基本教練」、「手旗信号」、「ロープ結索法」、「徒步行進訓練」、「装備品展示及び体験試乗」、「偽装(ドローン体験)」、「救急法」など3日間の日程を通じて、様々な模擬訓練を体験させるとともに、「職業講話」では、自衛隊の役割、陸・海・空の活動内容、災害派遣活動をDVD視聴(東日本大震災)を交えながら実施し、崇高な任務を持つ自衛隊の職業観及び魅力を最大限アピールすることができ、職業としての自衛隊への理解を促進するとともに、将来の進路の1つとなり得ることを周知することができた。

参加した生徒からは、「救急法で、人命救助の仕方や自分が助かるロープの結び方は、今後活かしていきたいです。」、「重い荷物を持って歩くことの大変さが身に染みてわかりました。また、初めての化粧が、ドローンになりました。」など多くの感想が聞かれ、中には、「将来、自衛隊の皆さんのような立派な自衛官になりたいです。」などと熱心に決意表明する生徒も散見された。

国分地域事務所は、引き続き、あらゆる機会を通じて、鹿児島地本内で連携を図りつつ魅力的な広報に努め、中・長期的な募集基盤の拡充を図り、育てる募集広報に取り組むとともに、より多くの募集対象者に自衛隊の魅力を発信し、入隊意欲の高い適質人材の確保に取り組んでいく。



救急法実習の様子

募集課
広報班

潜水艦「じんげい」艦艇公開を支援

自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和6年5月25日(土)及び26日(日)の2日間、鹿児島県北岸頭(鹿児島市)における潜水艦「じんげい」(艦長 佐藤 純 2等海佐)の一般公開・特別公開を支援した。

潜水艦の艦艇公開は、自衛隊関連施設が所在しない地域である同市における自衛隊の認知度向上及び防衛基盤の拡充に寄与するとともに、募集においても非常に高い効果が期待できるものであった。

鹿児島地本は、本イベント成功に向けて公式SNS等を最大限に活用して、積極的な事前告知を行った。これにより、事前告知の投稿においては、インプレッション数は約3万を超え、潜水艦に対する関心の高さがうかがえるとともに、当日、最新鋭の潜水艦「じんげい」が鹿児島港に寄港した際には高い反響があった。

募集対象者に対して5月25日(土)に実施した特別公開では、当初、士官室で潜水艦の概要説明、引き続き居室、食堂、艦長室等の見学及びオペレーション区画において潜望鏡の体験等を実施し、水上艦との違いを充分感じてもらうことができた。特に、参加した海上自衛隊志望の女性の募集対象者は、潜水艦に初めて設置された女性乗員専用の居室等に強い関心を持って見学していた。

特別公開に参加した募集対象者は「想像していたより、艦内が広く、涼しさを感じるくらい良い生活環境であることが分かった。良い体験ができました。」等多くの感想の言葉をいただいた。

26日(日)実施した一般公開では、上甲板のみの公開であったが、開始前から長蛇の列ができ、約2000名の来場者が訪れ、大いに賑わいを見せた。

一般公開が始まると、見学者は、上甲板での見学、らっぱ演奏、潜水艦の撮影ポイントでの記念撮影等を楽しむとともに、乗員に潜水艦の仕組み等について質問を行う等、潜水艦を十分理解していただける内容であった。

一般公開の参加者からは「どの潜水艦なのか楽しみだった。最新鋭「じんげい」を見た瞬間興奮した。ありがとうございました。」等の感想をいただいた。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、引き続き、艦艇公開等あらゆる機会を活用して、多くの鹿児島県民に自衛隊の活動等を紹介する機会を設けるとともに、防衛省・自衛隊に対する理解促進及び認知度向上に一丸となって努め、適質人材の確保に尽力していく。



潜水艦「じんげい」

総務課
企画班

令和6年度鹿児島県総合防災訓練参加
多用途支援艦「あまくさ」及びC130-R一般公開

自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和5年5月26日(日)奄美市川商ホールで実施された「令和6年度鹿児島県総合防災訓練」に参加した。

訓練においては、来場者に対する防災意識の啓発を目的として「平成22年奄美豪雨災害」の災害派遣活動状況のパネル及び非常用糧食・戦闘糧食Ⅱ型の展示ブースを開設するとともに、関係機関と連携強化並びに災害対処能力の向上を図り、地域住民の防衛省・自衛隊への理解を深めた。また、奄美警備隊(奄美市)と連携して、装備品展示「高機動車、軽装甲高機動車、オートバイ(偵察用)」を実施した。

その他、本防災訓練に参加した多用途支援艦「あまくさ」の一般公開(奄美大島名瀬港)及び奄美空港(奄美市)においてC-130Rの一般公開も行われた。

一般公開においては、多用途支援艦内の見学をはじめ、災害派遣における任務の概要説明が実施され、2日間で約400名が訪れた。また、災害派遣医療チームの輸送で参加したC130-Rの機内見学においては、約100名の見学者に対して機体の概要等について説明が実施される等、自衛隊の理解促進に繋がる内容であった。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、引き続き、防災訓練等あらゆる機会を通じて各関係協力団体との連携強化を図るとともに、多くの県民の皆様へ自衛隊の活動等を紹介する機会を設け、自衛隊に対する理解の促進及び自衛隊の認知度の向上に努めていきたい。



非常用糧食展示コーナーの様子

募集
企画班

練習艦「かしま」募集ツアーに参加
～海上自衛隊幹部の魅力を発信～

自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和6年4月3日(水)倉島岸壁(佐世保市)において実施された練習艦「かしま」の募集ツアーに参加した。

本ツアーは、海上自衛隊佐世保地方総監部が主催し、主として防衛大学校・一般幹部候補生の志願予定者を対象にした募集広報であり、鹿児島地方協力本部からは、特に海上自衛隊に興味を持つ女子高校生4名が参加した。

倉島岸壁に停泊した練習艦「かしま」の艦橋や機械室において、実習幹部5名による練習艦「かしま」の説明を受け、その後、約1時間の懇談を実施した。防衛大学校を受験した際の動機や入校後の生活、学部や校友会活動の選択等、様々な話題で懇談会場は大いに賑わい、当初は参加者も実習幹部も緊張気味に話していたが、懇談終了時には互いに打ち解けて懇談しており、同年輩同士の普段の会話のようだった。

参加者からは、「あっという間の時間でした。楽しかったです。」、「防衛大学校へ行って、ぜひ海上自衛官になりたいです。」等、多数の感想の言葉をいただいた。

自衛隊鹿児島地方協力本部は、引き続き、あらゆる機会を活用し、募集対象者に対して自衛隊の認知度向上に努めるとともに、自衛隊への信頼感の醸成及び隊員募集に資する広報活動に積極的に尽力していく。



実習幹部と懇談の様子

各所・センターの話題

鹿児島地本各所・センター一丸となった、各地域での活動をご覧ください。

第57回戦艦大和を旗艦とする
特攻艦隊戦没将士慰霊祭

徳之島
駐在員事務所



令和6年4月7日(日)、徳之島伊仙町で執り行われた戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭に、松浦本部長が参列しました。

多用途支援艦「あまくさ」
艦艇公開

奄美大島
駐在員事務所



令和6年5月26日(日)(長浜観光バス)、多用途支援艦「あまくさ」の入港に、港は歓迎ムード一色でした。

令和6年度 こどもまつり

種子島
駐在員事務所



令和6年5月5日(日)(西之表市)、まもる君が「ウミマル」と「ジュウベイ」と一緒に「こどもまつり」会場を盛り上げました。

母校へ帰郷訪問

国分
地域事務所



令和6年4月30日(火)5月1日(水)、今春入隊者が母校へ帰郷訪問を実施し恩師や在校生に成長した姿を見せました。(隼人工業高校)

和田中学校
防災教育

鹿児島
募集案内所



令和6年5月1日(水)(鹿児島市)、災害時の負傷者を徒手搬送する要領等について分かり易く展示・説明を実施しました。

多用途支援艦「げんかい」
艦艇公開

大隅
地域事務所



令和6年4月28日(日)(志布志港)、見学者は艦橋での記念撮影を実施するなど、思い出に残る艦艇公開になりました。

吹上浜砂の祭典

知覧分駐所



令和6年5月5日(日)(南さつま市)、来場者は展示装備品前で広報大使やまもる君と記念撮影する等、イベントを楽しみました。

水中処分母船5号
艦艇公開

薩摩川内
出張所



令和6年4月20日(土)(串木野港)、いちき串木野市家族会と協力して入港歓迎行事等を運営しました。

第25回エアーメモリアル
inかのや

鹿屋
地域事務所



令和6年4月28日(日)(鹿屋市)、来場者で賑わう鹿屋航空基地において自衛隊ブースを開設し特製缶バッジ配布等の広報活動を実施しました。

令和5年度第4回
陸士就職補導教育

国分駐屯地
援護センター



令和6年2月6日(火)から2月7日(水)の2日間、任期満了退職予定隊員等に対する就職補導教育を実施しました。

令和5年度業種説明会

川内駐屯地
援護センター



令和6年2月16日(金)、川内駐屯地において定年退職者予定者を対象に再就職準備に向けた業種説明会を実施しました。

援護協力企業に対する
防衛講話・説明会

鹿児島地域
援護センター



令和6年5月20日(月)、J A鹿児島みらい二十日会の皆様に対して本部長防衛講話及び退職予定者への再就職支援制度の説明を実施しました。

令和6年度鹿児島県自衛隊広報大使



シンガーソングライター
Yoko*



鹿児島フリータレント
山口ひかり



がんばるあなたの応援団！
じゃんけんマン



モデル
斎藤奈菜香



薩摩のヒーロー
薩摩剣士隼人



走る冒険家
岩元みさ



令和6年4月11日鹿児島第2地方合同庁舎において「鹿児島県自衛隊委嘱式」が行われ、新広報大使として1名の方を加えた6名の方々が委嘱されました。今年度も、6名それぞれのお力をお借りして募集につながる各種行事を企画・調整を進めていきます。

人事往来

「転出者」

自衛官

3等陸佐 永吉 健一
第4高射特科大隊（広報班長）

1等海尉 濱崎 広志
第1航空隊（鹿児島地域事務所長）

陸曹長 田畑 正則
第105補給大隊（鹿児島募集案内所）

1等空曹 小原 寛之
航空システム通信隊（鹿児島募集案内所）

1等海曹 西谷 洋造
第1潜水隊群司令部（募集課）

2等海曹 田淵 憲二
鹿児島航空基地（薩摩川内出張所）

2等海曹 東 清一
第201整備隊（大隅地域事務所）

2等海曹 藤崎 千尋
第211教育航空隊（鹿児島募集案内所）

2等空曹 中野 浩平
第5航空団（募集課）

事務官等
福山 和彦
海上幕僚監部（副本部長）

依坂 正浩
西部方面総監部（総務課）

高橋 博樹
大分弾薬支処（総務課）

山中 裕司
都城駐屯地業務隊（総務課）

古賀 美聡
奄美駐屯地業務隊（総務課）

本田 めぐみ
西部方面総監部（募集課）

濱田 大樹
国分駐屯地業務隊（募集課）

「転入者」

自衛官

3等海佐 村山 英也
鹿児島地域事務所長（鹿児島音響測定所）

2等陸尉 蛭川 忠司
広報班長（第8師団司令部）

海曹長 高田 敬介
種子島駐在員事務所（鹿児島情報保全派遣隊）

空曹長 金田 慎吾
募集課（第5航空団）

1等陸曹 西川 竜二
国分地域事務所（高等工科学学校）

2等空曹 福永 紘太
奄美大島駐在員事務所（第55警戒隊）

3等陸曹 下敷領 心之丞
募集課（第41普通科連隊）

3等海曹 山本 崇晃
大隅地域事務所（第1航空隊）

事務官等
有村 光浩
副本部長（自衛隊中央病院）

小湊 克裕
援護課（海上自衛隊補給本部）

森 さおり
総務課（西部方面総監部）

袋野 浩良
援護課（久留米駐屯地業務隊）

阿部 清志
総務課（玖珠駐屯地業務隊）

上村 宏
総務課（別府駐屯地業務隊）

香川 真希子
募集課（東部方面総監部）

坂本 将騎
総務課（幹部候補生学校）

隈元 皓大
募集課（対馬警備隊）

「定年退官」

「定年退職者」

2等陸佐 竹迫 孝一
3等陸佐 平松 久幸
防衛事務官 和田 哲郎

「再任用任期満了」

米元 秀志
援護課

「再任用」

福富 正博
援護課

「任期付自衛官（採用）」

海士長 吉原 菊代



鹿児島地本
HP



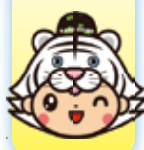
本 部	電 話 番 号
自衛隊鹿児島地方協力本部	099-253-8920（代表）

事 務 所 名	電 話 番 号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿児島地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

鹿児島地本

検索

お問い合わせ先



2024 自衛隊 みなと祭り

会場：かこしま本港 北ふ頭 7/28(日)
08:00 ~ 17:00

訓練支援艦 くろべ

観艦艦 あきづき

一般公開 ※最終乗艦 16:30

陸上自衛隊装備品展示

航空自衛隊装備品展示

その他のイベント（予定）

※内容は変更となる場合があります。

お問い合わせ先：鹿児島地本 広報課：099-253-8020(代)